

千葉県を取り巻く環境問題の現況と課題

【本県の環境問題の現況】

- ・ 県の環境基本計画に基づき、様々な施策に取り組んできた結果、県内の大気・水環境に一定の改善が図られたほか、廃棄物の不法投棄が大幅に減少した。
- ・ しかしながら、環境基準未達成の光化学オキシダントへの対応、微小粒子状物質（PM_{2.5}）による大気汚染の顕在化、閉鎖性水域の水質改善、有害鳥獣への対応、生物多様性の減少、地球温暖化対策、海洋中のマイクロプラスチックなど、引き続き解決しなければならない課題が山積している。
- ・ 特に、地球温暖化は、気候変動による広範囲かつ長期的な影響により環境リスクを高め、人類の生存基盤や生物多様性を脅かす深刻な問題である。

【国内外の動向】

- ・ 2015年9月、「持続可能な開発目標（SDGs）」を掲げた「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が国連サミットにおいて採択された。
- ・ 2015年12月、地球温暖化問題に人類全体で取り組む初めての枠組みである「パリ協定」が採択された。本県においても、2016年9月に千葉県地球温暖化対策実行計画を策定し、2030年度の県内の温室効果ガス排出量を2013年度比で22%削減することを目指している。
- ・ 2018年4月、国が第5次環境基本計画を策定。SDGsの考え方も活用し、複数の課題を統合的に解決していくことが重要としており、環境・経済・社会的課題の同時解決を目指している。

【今後の課題】

- ・ 環境問題の多くは、私たちの日常生活や事業活動に起因していることから、日常生活や事業活動を見直し、自ら率先して環境に配慮した行動を実践していかなければならない。
- ・ また、持続可能な社会を構築するため、行政はもとより、県民や事業者をはじめ全ての主体がこの認識の下、積極的に環境保全に取り組む必要がある。
- ・ さらに、SDGsや国の環境基本計画の考え方を踏まえ、本県においても、分野横断的な環境政策の展開により、経済・社会的課題の同時解決を目指す必要がある。

